



Joyful Naturalist



Contents

●Topics

〈特集1〉小山田緑地

「親子で楽しむ昆虫観察会」講師支援

〈特集2〉小網代開園記念ボランティアウォーク

〈特集3〉岡上西町会 納涼祭

●NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動

●鶴見川源流ネットワーク参加団体活動

●7月、8月の活動報告

●9月、10月の活動予定

No.201

★鶴見川源流こどもキャンプ



8月23日(土)、町田市とNPO法人鶴見川源流ネットワークとの協働主催、町田市立小山田小学校および町田市青少年健全育成小山田地区委員会の協力のもと、また同小学校PTAのお手伝いも得て、鶴見川源流域で「鶴見川源流こどもキャンプ」を実施いたしました。2003年に「サルビア交流」の一環として開催以来、姿形を変え毎年実施しているものです。例年、資金とスタッフ不足で厳しい状況の中、子どもたちの人気にこたえ継続しています。今年も、比較的スタッフに負担のかからない、午後1時集合の午後9時解散という夜型デイキャンプ形式で実施しました。

参加費有料の懸念の中、14家族33名と定員をややオーバーの参加者数となりました。前日の天気予報とは変わって、集合時間から雨というスタートとなり、会場を体育館に移したり、雨天プログラムの準備をしたりと、慌ただしい中での開校式となりました。

最初のプログラムは、雨故に「テント設営」に変更。体育館内に親子で力を合わせて14張りのテントを設営しました。いつしか雨もあがり薄日も射し込む天気となったので、学校前の調整池で「お魚獲り」。ホトケドジョウやアブラハヤ、子どもたちの人気ナンバーワンのザリガニ等、たくさんの生きものが獲れました。3時には恒例の「スイカ割大会」で盛り上がり、夕食は、おいしいカレーをテントの中や中庭でいただきました。食後は、最後のプログラム「ナイトウォーク」。カブトムシ、セミの幼虫、カラスウリの花などが印象的だったとの子どもたちの感想でした。

デイキャンプとは言え、使用した備品は宿泊キャンプと同じ量となり、苦勞もありましたが、参加者から良い評価をいただき、疲れも吹き飛びました。幸いにも、集合時以外に雨に降られることもなく、すべてのプログラムを実施することができ、参加者のみなさまにもご満足いただけたものと思います。

【NOP法人鶴見川源流ネットワーク 小林 美晴】